



図版1.「黒坂圭太——森を見ずに木を見る」メインビジュアル

会期：

2026年6月15日(月)  
— 7月18日(土)

会場：

武蔵野美術大学美術館  
展示室3、美術館ホール

時間：10:00–18:00(土曜日、

特別開館日は10:00–17:00)

休館日：日曜日

特別開館日：7月12日(日)

入館料：無料

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

このたび武蔵野美術大学 美術館・図書館では「武蔵野美術大学教授退任記念 黒坂圭太——森を見ずに木を見る」を開催いたします。

アナログ描画を中心に、様々な技法を取り入れながら独自のアニメーション表現を探究し続ける黒坂圭太。作家が自らの制作態度を表明した展覧会タイトルの示す通り、物語を支える細部の設定や画面の隅々にまで至る執拗な描写を特徴とした作品によって、国内外で評価を受けています。

本展では作品上映および資料展示を通じて黒坂による創作の軌跡を辿り、特に撮影素材をはじめとする様々な資料から、作品制作のプロセスについて検証します。さらには、現在も制作が続けられている最新作の撮影素材を特別に一部ご紹介。キャリアを通じて作風を変化させ続けてきた黒坂による表現の現在地をご覧ください。

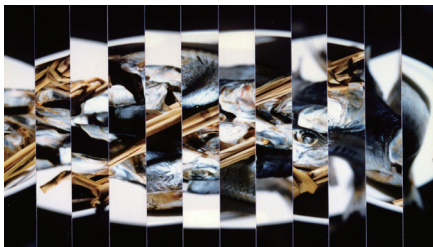
## ■本展の見どころ

### ◆美術館ホールでのアニメーション作品一挙上映

美術館ホールではプログラム上映を会期中毎日行い、初期作から近作まで約30本の黒坂作品をご覧いただけます。

上映予定作品：

『変形作品第2番』(1984)／『ソナタ第1番』(1985)／『変形作品第3番<ミックスジュース>』(1985)／『変形作品第5番<レンブラントの主題による変形解体と再構成>』(1986)／『海の唄』(1988)／『みみず物語』(1989)／『個人都市』(1990)／『春子の冒険』(1991)／『箱の時代』(1992)／『蓄音機13号』(1993)／『ATAMA』(1994)／『パパが飛んだ朝』(1997)／『DRAGON』(1999)／『冬の日・第23句』(2003)／『餅兵衛』(2005)／『ワタシノカオ』(2005)／『AGITATED SCREAMS OF MAGGOTS』(2006)／『緑子/MIDORI-KO』(2010)／『輪郭』(2012)／『陽気な風景たち』(2015)／『マチュエリカ/MATIERICA』(2017)／『山川景子は振り向かない』(2017)／『無軌道な線たち』(2019)／『A Drawing for Mam』(2020)／『生きる壁』(2020)／『ぴんくのこちょうちょ』(2026)／『ソナタ'75』(2026)



図版 2.  
『変形作品第3番<ミックスジュース>』(1985年)より



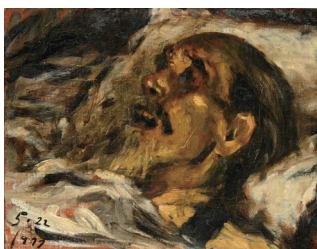
図版 3.  
『AGITATED SCREAMS OF MAGGOTS』(2006年)より



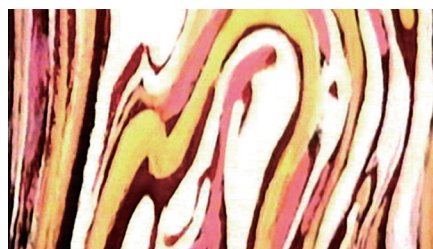
図版 4.  
『輪郭』(2012年)より

### ◆貴重な作品・資料の展示

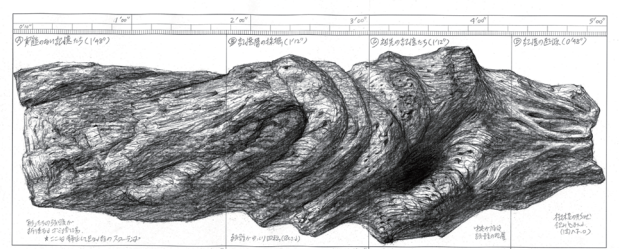
美術館展示室では、黒坂がアニメーション作品を手がける以前に制作していた絵画作品をはじめ、原画やコンテ、設定資料などの多様な展示物を通じて、その作品の成り立ちに迫ります。さらに、黒坂が2022年に着想し現在進行形で制作を続けている最新作の長編アニメーション映画についても、一部の映像素材やイメージボードなどを特別に公開します。



図版 5.  
『祖父の臨終』(1977年) 油彩、F6号



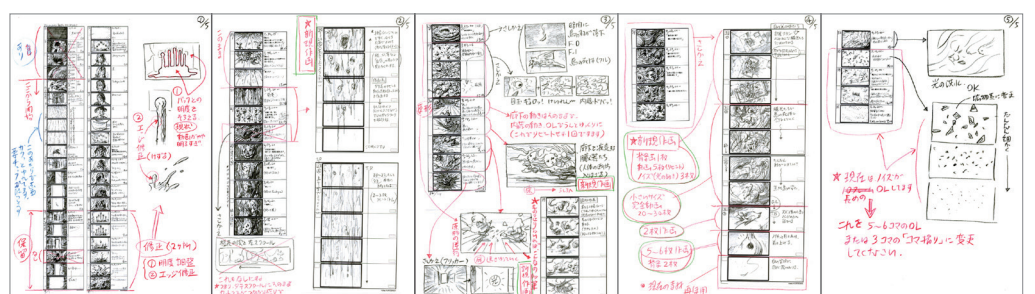
図版 6.  
『ソナタ第1番』(1985年) 撮影素材



図版 7.  
『マチュエリカ/MATIERICA』(2017年) イメージボード



図版 8.  
『緑子/MIDORI-KO』(2010年) 撮影素材



図版 9.  
『輪郭』(2012年) 絵コンテ

## ■作家略歴

黒坂圭太(くろさか・けいた)

アニメーション作家。1956年東京都生まれ。1979年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。  
2026年3月まで武蔵野美術大学造形構想学部映像学科教授。

1980年代前半よりストップモーションによるアニメーション作品の制作を開始し、自主制作8  
ミリ映画『変形作品第2番』(1984年)が第8回PFF(ぴあフィルムフェスティバル)入選。その後  
短編アニメーション映画の発表を続け、アヌシー国際アニメーション映画祭、オタワ国際アニ  
メーション映画祭、BDA国際デザイン大賞など国内外の様々な映像祭で受賞を重ねる。2011  
年発表の長編アニメーション作品『緑子 / MIDORI-KO』は世界20カ国以上で上映された。近  
年はジャンルを超えたコラボレーションや「画劇」と称される即興ドローイング・パフォーマンス  
など多彩な活動を展開する。

## ■関連イベント

### ①16mmフィルム上映+レクチャー

日時:6月20日(土)15:00-16:30(14:30開場)

会場:美術館ホール

入場無料/先着順(予約不要)/直接会場へお越しください。

### ②黒坂圭太講演会

日時:6月27日(土)14:30-16:30(14:00開場)

会場:美術館ホール

入場無料/先着順(予約不要)/直接会場へお越しください。

## ■同時開催展覧会

「民具これなーんだ?——民俗学者・宮本常一が美術大学に遺した民具コレクション」

会期:2026年6月15日(月)–8月1日(土)

会場:武蔵野美術大学 美術館 展示室2・4、アトリウム1・2

お問い合わせ先:

武蔵野美術大学 美術館・図書館

東京都小平市小川町 1-736

tel: 042-342-6003 fax: 042-342-6451

<https://mauml.musabi.ac.jp>

美術館広報担当

mail: [prmsm@musabi.ac.jp](mailto:prmsm@musabi.ac.jp)

プレス用図版をご希望の方へ:

- ・下記の注意点を参照の上、ご希望の図版番号と、必要事項をEメールにてお知らせください。  
(お名前、ご所属、電話番号、Eメール、媒体名、掲載号、発行予定日、コーナータイトル)
- ・掲載図版が1点のみの場合は図版1.をお送りします。  
2点以上の場合は、図版1.+ご希望の図版をお送りします。
- ・指定のクレジットを必ず明記してください。
- ・原則的には図版のトリミング、部分使用、文字載せはご遠慮ください。
- ・掲載内容確認のため、発行前にPDF等でレイアウトをお送りください。
- ・紙媒体は掲載見本のご寄贈(掲載ページのPDF可)、ウェブ媒体は掲載ページのURLお知らせを  
お願いします。